南山大学

編入学・転入学試験

転部・転科試験

出題の意図・解答例

2026年度

NANZAN
UNIVERSITY

目　　次

≪編入学・転入学試験および転部・転科試験≫

英語 ……1
国語 ……4
数学 ……6
スペイン語 ……7
フランス語 ……8
ドイツ語 ……11
中国語 ……14
インドネシア語 ……15

２０２６年度　編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名　英　語　　時間　９０分　　配点　２００点　　（２０２６年2月２５日実施）

〈ただし、編入学・転入学試験 心理人間学科および理工学部の配点 １００点〉

【出題の意図】

AI

本設問では、大学レベルの学修に必要な英語の文法力および語彙力の総合的な運用能力を測定します。文の意味を正確に理解し、適切な語句や文法形式を選択する力を評価します。

AII

本設問では、400～600 語程度の文章に最も適した文法形式、語彙、表現を選択する能力を測定します。文法、語彙、論理的な流れを考慮しながら、全体の意味を理解する力を評価します。

AIII

本設問では、200～400 語程度の文章に最も適した文法形式、語彙、表現を選択する能力を測定します。文法、語彙、論理的な流れを考慮しながら、全体の意味を理解する力を評価します。

AIV

本設問では、日常的な状況における短い自然な会話を完成させることで、文法の正確さ、語彙の使用、文脈に即した応答の適切さを測定します。

AV

本設問では、短い文の中から文法的または語彙的な誤りを見つけ出す能力を測定します。動詞の時制、冠詞、前置詞、語形などへの理解を確認し、文構造に対する正確さと注意力を評価します。

B

本設問では、社会的または教育的なテーマについて、英語で意見を論理的かつ説得力をもって表現する能力を測定します。批判的思考力、文章構成力、英語表現力を評価し、大学レベルの学習に必要なライティング能力を確認します。

【解答例】

1. B
2. C
3. C
4. A
5. A
6. B
7. C
8. D
9. D
10. D
11. A
12. B
13. B
14. D
15. A
16. D
17. D
18. B
19. B
20. A
21. C
22. A
23. C
24. B
25. B
26. D
27. D
28. C
29. A
30. B
31. B
32. B
33. D
34. A
35. B

36. C
37. B
38. D
39. A
40. B
41. A
42. A
43. A
44. B
45. B
46. C
47. D
48. C
49. D
50. B
51. A
52. C
53. A
54. A
55. A
56. D
57. A
58. C
59. B
60. A
61. A

二〇二六年度 編入学・転入学試験

試験科目名　国語　時間　九〇分　配点　一〇〇点　（二〇二六年二月二五日実施）

【出題の意図】

一　吉見俊哉『大学とは何か』からの出題である。本学一年次あるいは二年次相当の国語力があるかどうかを問う問題となっている。漢字の書き取りと空欄補充・脱文挿入の問題によって国語の基礎力を問い、記述問題によって読解力と表現力を問うた。

二　『伊勢物語』からの出題である。本学一年次あるいは二年次相当の国語力と教養があるかどうかを問う問題となっている。基礎的な古語と古典文法に関する知識をもとにして古文の内容を理解する読解力と、表現力および基本的な文学史に関する知識を問うた。

【解答例】

一

問1　今日につながる意味での「大学」は、中世西欧で広域的な経済の拠点として発達した都市に集った移動民たちが知識を交換し、協同組合的な組織を形成したことを出発点とするが、そこには人やモノの恒常的な移動を基盤とする「都市の自由」があり、それこそが「大学の自由」という理念の基盤となったのであり、都市を拠点とする人の行き来や物流の活発化がなければ、移動民たちの形成した組織が今日につながる意味での「大学」にはなり得なかったから。

問2　たくはつ

問3　中世のヨーロッパにおいては、情報を伝える手段は写本や手紙しかなかった一方で、都市と都市の間を移動する商人や托鉢修道士などは、外界の知識を多くもたらすとともに、その知識を外へと伝える存在であった。

問4　朗読　　問5　**イ**　もちろん　　問6　**ア**　しかし

問7　需要　　問8　受容　　問9　**ア**　**【I】**　　問10　**エ**　X　観念　－　Y　実践

問11　広域的な人の行き来や物流の拠点となった都市に集った移動民が持つ、都市から都市へと移動できるという自由と、その移動によって得られた、皇帝や教皇のような普遍的な権威さえも相対化し、複数の権威と多元的に結びつくことができる自由のこと。

二

問1　京都にはいるまい　　問2　河が蜘蛛の足のように何筋にも分かれていること。

問3　「かきつばた」の「か」、「きつつなれにし」の「き」のように、和歌のそれぞれの句の一文字目を繋げれば「かきつばた」になるよう和歌を詠むということ。

（別解）

「かきつばた」の「か」、「きつつなれにし」の「き」、「つましあれば」の「つ」、「はるばりきぬる」の「は」、「たびをしぞおもふ」の「た」を繋げて「かきつばた」になるよう和歌を詠んだと

いうこと。

問４　着　　問５　現実でも夢の中でもあの人に会わないことだなあ　　問６　ウ

問７　五月の末なのに雪が降り積もっていて季節はずれだから。　　問８　在原業平

２０２６年度　編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名　数　学　　時間　９０分　　配点　２００点　　（２０２６年2月２５日実施）

【出題の意図】

1.
(1) 複素数と複素数平面に関する基本事項の理解度を問うとともに，それらを適切に適用する能力を問う。
(2) 図形と計量に関する基本事項の理解度を問うとともに，それらを適切に適用する能力を問う。
(3) 図形の数学的表現に関する基本事項の理解度を問うとともに，それらを適切に適用する能力を問う。
2. 微分法，積分法に関する基本事項の理解度を問うとともに，解を導く思考力，その導出過程の記述力を問う。
3. 行列に関する基本事項の理解度を問うとともに，解を導く思考力，その導出過程の記述力を問う。

【解答例】

1.
(1) 極形式は，$1+i=\sqrt{2}(\cos\frac{\pi}{4}+i\sin\frac{\pi}{4})$，　値は$(1+i)^8=16$

(2) 外接円の半径は$\frac{8\sqrt{7}}{7}$，面積は$\frac{12\sqrt{7}}{7}$

(3) $(-\sqrt{2},3\sqrt{2})$

2.
(1) $y=e^{p-a}x+(1-p)e^{p-a}$
(2) C上の点(p,e^{p-a})の，直線$y=x$について対称な点の座標を求め，その座標により，対称な点がD上にあること，および，pが動くことにより，その対称な点がD上のすべての点を表すことを示す.
(3) 1
(4) $1-\frac{2}{e}$

3.
(1) $\begin{bmatrix}5\\-3\end{bmatrix}$

(2) $\begin{bmatrix}0&2\\-1&3\end{bmatrix}$

(3) $\begin{bmatrix}3\\4\end{bmatrix}$

２０２６年度　編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名　スペイン語　　時間　９０分　　配点　２００点　　（２０２６年2月２５日実施）

【出題の意図】

この試験の出題意図は二つから成る。第一の意図は、スペイン語で記述された長文の読解能力を測定することである。スペイン語で構成された平易な単文から複雑な重文に至るまで、様々なレベルの記述（発話及び談話）を正確に読み解きながら、問いに答えるために必要な情報を引き出す能力があるかどうかを判定する。同時に、スペイン語で推論する能力と、問われている事象を一般化する能力があるかどうかも見極める。そして、長文読解を通して、スペイン語で論理的な結論を導き出す思考力が備わっているかどうか判別する。スペイン語による長文読解能力、推論力、一般化能力、総合的な思考力を測定する問題は、全て設問の前半部分を構成するセクション A に組み込まれている。第二の意図は、スペイン語の語彙力と文法力を測ることである。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に則して、A1 レベルに相当する初歩的なスペイン語の語彙を有しているかどうか判定するところから始め、徐々に語彙レベルを上げていき、後半の設問では、B1 から B2 レベルに準ずる語彙を扱うことができるかどうか測定する。また、スペイン語の文法構造を体系的に身に付けているかどうかも判別する。具体的には、主語と動詞の人称一致、動詞の時制一致、完了・未完了の選択及び、直説法・接続法の使い分けなどの設問を通して、スペイン語を用いた感情表現、客観的描写、価値判断などを明確に言語化できるかどうか測定する。語彙、人称の選択、時制の識別、感情表現、客観的描写、価値判断などを扱った設問は、作問の後半部分を織りなすセクション B に配されている。俯瞰的に見ると、作問は徐々に難しくなるよう構成されている。

【解答例】

1- d	16- a
2- c	17- b
3- b	18- d
4- b	19- b
5- d	20- a
6- b	21- a
7- c	22- c
8- a	23- a
9- d	24- b
10- c	25- d
11- b	26- b
12- c	27- c
13- d	28- b
14- b	29- d
15- d	30- d

２０２６年度　編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名　フランス語　　時間　９０分　　配点　２００点　　（２０２６年2月２５日実施）

【出題の意図】

難易度はヨーロッパ言語共通参照枠の A1～A2 レベルである。

問題Ⅰは、フランス語圏における時事的な内容であるテキストを読み、文章理解力を問う問題である。フランス語で書かれた A2 レベルのテキストの内容を適切に理解し、日本語で説明する能力を有しているか評価する。
問題Ⅱは、フランス語構文の中心となる動詞の意味・用法・活用の知識を有しており、適切に使用し、表現することができるかを評価する問題である。
問題Ⅲは、フランス語での平易なコミュニケーション（やり取り）において重要な役割を担う疑問詞を正確に使用し、表現できるかを問う問題である。A1 レベルのコミュニケーションで必要な平易な語彙を理解でき、適切に質問できる能力を有しているかを評価する。
問題Ⅳは、フランス語でのコミュニケーション活動で頻繁に使用される代名詞を適切に表現できるかを問い、これまで身につけた文法的知識について評価する問題となっている。
問題Ⅴは、フランス語の文法的知識を活用し、文の言いかえを行う問題となっている。関係代名詞や強調構文などを適切に理解し、複雑な文を構築できる表現力を有しているかを評価する。
問題Ⅵは、和文仏訳問題である。日常的なコミュニケーションで使用する表現を適切な語彙・文法を使って正確に表現できる能力を有しているか評価する問題である。
問題Ⅶは、日常的なフランス語でのコミュニケーション場面における表現力を問う問題である。手紙・メールを書くという状況で、内容面および形式面において適切に表現できるか評価する。

【解答例】

Ⅰ.

1.-a) ㋒　1-b) ㋑

2. la démocratie

3-a) environ 100 pages

3-b) une dizaine

3-c) Pour atteindre un public varié et offrir des contenus adaptés à différents modes de lecture et d’information.

4-a) エリート層は、市民の関心や悩みからあまりにもかけ離れていると受け止められている。彼らは時に公共の利益を犠牲にして、自分たちの利益を守っている。

4-b) 欧州連合（EU）は、国民の意見を求めることなくフランスのために決定を下し、国の法律や伝統を変えてしまうような規則を押し付けていると考えられている。

5. 批判者たちは、この雑誌が政治的にあまりにも偏った視点を示し、保守的あるいはナショナリズム的な潮流に近いと考えている。また、執筆者や出演者の選定において思想的多様性に欠け、フランス社

会を悲観的に分析して国家的内向き志向を評価している点や、ミシェル・オンフレの意見を強く前面に出しているため、見解の多様性が制限されているとも指摘している。

6. 主権主義は、各国が自国の法律や将来について自由に決定すべきだという考えを擁護している。

Ⅱ.

1. reçoit　　2. viens　　3.Dépêche-toi / Dépêchez-vous　　4. as ouvert
5. sommes sortis　　6. avait　　7. fera　　8. avais suivi　　9. aurais pu　　10. soyez

Ⅲ.

1. Quel　　2. Où　　3. qui　　4. Quand
5. Comment　　6. Qu'est-ce que　　7. Pourquoi　　8. combien

Ⅳ.

1. lui　　2. en　　3. les　　4. leur　　5. l'　　6. le　　7. y

Ⅴ.

1. J'ai vu un film qui dure deux heures.
2. Jean m'a présenté une femme dont j'ai oublié le nom.
3. C'est moi qui vais chercher des baguettes.
4. Ces chaussures te plaisent beaucoup ?
5. Je ne peux pas faire du vélo à cause de la pluie.

Ⅵ.

1. Aujourd'hui, je me suis levé(e) à sept heures (du matin)。
2. Mon petit frère est plus grand que moi.
3. Je suis un peu fatigué(e), parce que j'ai marché toute la journée hier.
4. Quand ils sont arrivés en France, ils ne pouvaient pas bien parler français. / À leur arrivée en France, ils parlaient mal français.
5. C'est difficile d'apprendre la philosophie. / Ce n'est pas facile d'apprendre la philosophie. / Apprendre la philosophie, c'est difficile.

Ⅶ.

Bonjour Céline,

J'ai reçu deux billets gratuits pour une exposition sur Monet dans notre ville et je t'invite à venir avec moi. Elle se tient du 15 mars au 30 juin au musée des Beaux-Arts. Il y a des tableaux de Monet et des explications sur son art. Comme tu étudies l'histoire de l'art, cette exposition devrait beaucoup t'intéresser. Nous pouvons y aller le 22 ou le 30 mars.

À bientôt,

(votre prénom)

２０２６年度　編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名　ドイツ語　　時間　９０分　　配点　２００点　　（２０２６年2月２５日実施）

【出題の意図】

Ⅰ.

コミュニケーション能力の育成に重きを置いた本学のドイツ語教育の方針に沿い、基本的なコミュニケーション能力を有しているかを問う問題である。あわせて、正書法についての正しい知識を有しているかを測ることも意図している。

Ⅱ.

日常的コミュニケーション能力と基本的な文法知識および語彙を有しているかを問う問題である。ここでは特に補足疑問文、疑問文形式の依頼文、および相手に合わせた適切な言葉づかい（敬称を用いるべきか親称を用いるべきか）に関する知識を有しているかを測ることを意図している。

Ⅲ.

日常的コミュニケーション能力と基本的な文法知識および語彙を有しているかを問う問題である。ここでは特に、自らに向けられた質問を理解し、適切に答えることができるか、そしてその文を正しく書くことができるかを測ることを意図している。詳しく書かれれば、語彙の豊かさも測ることができる。

Ⅳ.

日常的コミュニケーション能力と基本的な文法知識および語彙を有しているかを問う問題である。ここでは特に、出身を問う疑問文、３格の疑問代名詞を用いた疑問文、前置詞と疑問代名詞の組み合わせ（人の場合）および両者の融合形（事物の場合）を用いた疑問文、理由を問う疑問文を正しく作ることができるかを問うている。

Ⅴ.

基本的な文法知識と語彙を有しているかを問う問題である。文脈から判断して適切な単語を正しい形で書き入れさせることで、基礎的な単語や文法規則を知っているか、また正しく変化させて書くことができるかを問うている。

Ⅵ.

平易なドイツ語のメールの意味を理解し、それに対して適切な返事を書くことができるかを問う問題である。採点にあたっては、内容が適切であるか、言葉づかいが適切であるか、呼びかけおよび締めの言葉が適切に記されているか、文法的にどの程度正しく書かれているか、綴りがどの程度正しく書かれているか、語彙がどの程度豊かであるか、という観点から評価する。

Ⅶ.

与えられたテーマに関する意見文を書く能力を測る問題である。採点にあたっては、内容が適切であるか、言葉づかいが適切であるか、呼びかけおよび締めの言葉が適切に記されているか、文法的にどの程度正しく書かれているか、綴りがどの程度正しく書かれているか、語彙がどの程度豊かであるか、という観点から評価する。長く書かれれば、どの程度高度な能力を有しているかを測ることができる。

【解答例】

Ⅰ.

A: Entschuldigung! Können wir jetzt bezahlen?

B: Jawohl. Also, Sie hatten einen grünen Salat, ein Wiener Schnitzel und eine Flasche Mineralwasser mit Kohlensäure. Das macht sechsundzwanzig Euro achtzig, bitte.

A: Achtundzwanzig, bitte.

B: Danke schön. Und zwei Euro zurück. Schönen Tag noch!

A: Danke, gleichfalls.

Ⅱ.

(1) Was ist Ihr Hobby? / Was sind Ihre Hobbys? / Was machen Sie gern in Ihrer Freizeit?

(2) Was ist Ihre Mutter von Beruf? / Was macht Ihre Mutter? / Was macht Ihre Mutter beruflich?

(3) Was studiert Ihr Sohn? / Darf ich fragen, was Ihr Sohn studiert?

(4) (Entschuldigung.) Wie komme ich zum Bahnhof? / Können Sie mir bitte sagen, wie ich zum Bahnhof komme? / Könnten Sie mir bitte sagen, wie ich zum Bahnhof komme?

(5) Kannst du mir bitte bei der Hausaufgabe helfen? / Könntest du mir vielleicht bei der Hausaufgabe helfen?

Ⅲ.（以下はあくまでも例）

(1) Am Wochenende habe ich mit meinen Freunden Tennis gespielt. Das hat mir sehr viel Spaß gemacht.

(2) Ich würde den Ise-Schrein empfehlen. Er ist groß, hat viel Grün und die Atmosphäre dort ist sehr heilig.

(3) Ich lerne gern Fremdsprachen, weil ich mich für ausländische Kulturen interessiere und weltweit reisen möchte.

(4) Ich möchte Dirigent werden. Schon seit meiner Kindheit mag ich klassische Musik und spiele verschiedene Instrumente. Mein Traum ist es, irgendwann in der Staatsoper zu dirigieren.

(5) Wenn ich ein Jahr in Deutschland leben würde, würde ich ein japanisches Café eröffnen und dort leckeren Matcha-Kuchen anbieten.

Ⅳ.

(1) Woher kommt der Professor?

(2) Wem gehören diese Bücher?

(3) An wen erinnert sich Stefan noch gut?

(4) Wofür interessiert sich Anna?

(5) Warum ist Paul gestern nicht gekommen?

Ⅴ.
(1) ist
(2) Als
(3) bin
(4) habe / hatte
(5) gegangen
(6) weil / da
(7) zu
(8) was
(9) dass
(10) sollen

Ⅵ.（以下はあくまでも例）
Lieber Michael,

danke für deine E-Mail.
Ich wusste nicht, dass Frau Keller im Krankenhaus ist.
Ja, ich finde deinen Vorschlag sehr gut. Besuchen wir sie morgen dort!
Ich werde dann gegen 14 Uhr vor der Bibliothek auf dich warten.
Bis morgen!

Liebe Grüße
Aki

Ⅶ.
１年以上日本に住む外国人は全員日本語を学ぶべきか、というテーマについての意見を 80 語前後で、明快かつ誤りの少ないドイツ語で記した文章を解答として想定している。

２０２６年度　編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名　中国語　　時間　９０分　　配点　２００点　（２０２６年２月２５日実施）

【出題の意図】

南山大学外国語学部アジア学科のアドミッション・ポリシー「Ⅰ 知識・技能」および「II 思考力・判断力・表現力」に基づき、本学科で学ぶ前提として必要となる基礎的な中国語の学力と、思考力・判断力・表現力を確認する。

【解答例】

設問ごとに以下の点を評価のポイントとして採点をおこなった。なお、大問二、大問三、大問四及び大問五は、出題文の内容を理解した上での解答を求める問題であり、一義的な解答を示すことが難しいため、解答例の提示はしない。

一．ピンインの規則にしたがって、各単語の声母・韻母・声調を正確に表記できているかどうか。

１）gōngkè	２）duànliàn	３）làbǐ	４）tuōfú	５）lǜsè
６）jiàgé	７）zhíyè	８）biǎoyáng	９）yànhuì	10）màoyì
11）yóulǎn	12）fènglí	13）zhǒnglèi	14）xiānggū	15）shìhé
16）pángxiè	17）yuèdú	18）zhěnglǐ	19）fāngfǎ	20）jǔxíng

二．１）完了表現、２）願望表現、３）可能表現、４）除外の表現、５）指示の表現、６）持続相、７）授与表現、８）存在表現、９）進行相および可能表現、10）仮定表現、11）対比および変化の表現、12）理由の表現、13）完了表現、14）動作の連続、15）目的表現および回数表現、および各種の語句を含む日本語に対して、過不足なく自然な中国語訳をあてて答えているかどうか。

三．提示した語句を文法的に正確に使用しているか、提示した語句の意味機能をふまえて、文法的にも意味的にも自然な中国語を答えているかどうか。

四．文章全体が伝達している内容を捉えているか、基本的な構文、文法機能、および語彙を理解した上で、過不足なく自然な日本語訳をあてて答えているかどうか。

五．指定した内容をすべて含めて作文しているか、指定した内容をふまえて、表現が多様で有機的なつながりをもった文章を組み立てているかどうか、文法的にも意味的にも適切な中国語で答えているかどうか、正しい簡体字を使用して表記しているかどうか。

２０２６年度　編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名　インドネシア語　　時間　９０分　　配点　２００点　（２０２６年2月２５日実施）

【出題の意図】

南山大学外国語学部アジア学科のアドミッション・ポリシー「Ⅰ 知識・技能」および「II 思考力・判断力・表現力」に基づき、本学科で学ぶ前提として必要となる基礎的なインドネシア語の学力と、思考力・判断力・表現力を確認する。

【解答例】

設問ごとに以下の点を評価のポイントとして採点をおこなった。なお、出題文の内容を理解した上での解答を求める問題であり、一義的な解答を示すことが難しいため、解答例の提示はしない。

I.　文章全体が伝達している内容を捉え、基本的な構文、動詞の形、文法機能、および語彙を理解した上で答えているかどうか。

II.　(1) 月日表現および前置詞、(2) 数詞、(3) 助動詞、(4) meN-i 動詞と関係節受動および命令構文、(5) meN-kan 動詞、(6) ke-an 派生語および無生物使役者構文、(7) per-an 派生語および前置詞、(8) 省略語および副詞節、(9) 譲歩節および meN-i 動詞、(10) 時の副詞節、および各種の語句を含むインドネシア語に対して、過不足なく自然な日本語訳をあてて答えているかどうか。

III.　(1) 助動詞および節連結、(2) 所用時間の表現および節連結、(3) 前置詞、(4) -an 派生語、(5) 疑問詞補文節、(6) 焦点構文および meN-kan ないし meN-i 動詞、(7) 受動構文および memper-動詞、(8) agar/supaya 補文節、(9) peN-an 派生語、(10) 条件節、および各種の語句を含む日本語に対して、過不足なく自然なインドネシア語訳をあてて答えているかどうか。

IV.　インドネシアに関するそれぞれの問いに対して適切なインドネシア語を使って答えているかどうか。

V.　全てのキーワードを使用して作文し、キーワードの使用文脈を理解した上で文章を組み立て、適切なインドネシア語を使って答えているかどうか。

発行：南山大学　入学センター
名古屋市昭和区山里町 18 番地
Phone ： (052)832-3119
E-mail ： nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp
Ｕ Ｒ Ｌ ： https://www.nanzan-u.ac.jp/